

1857	安政4	12月20日、数十年稀な地震続く。熊本城石垣所々損じ、御倉など引割る。(『災異誌』)
1866	慶応2	3月30日夜五ツ時(20時)、熊本大地震。(『災異誌』)
1874	明治6	7月28日、人吉大地震。(『災異誌』)
1889	明治22	7月28日、熊本大地震。 ※推定M6.3(推進本部HP) 死者20人、負傷者54人、全壊家屋239戸、半壊236戸、熊本城内で石垣が崩れ、熊本県下飽田郡内(現熊本市西区等)で地割れ600箇所、田んぼに凹凸、噴砂もあり。年末まで余震566回。(『災異誌』)(災害履歴DB) 八代郡河俣村黒木止善の記録『御一新田舎話』(個人蔵、『東陽村史』に全文翻刻) 「扱又七月始めになりければ大地震ゆり出し、此時は何方もゆり候へ共、第一熊本は甚だしく、金峯山より動揺めき出で来る毎に地震毎日続き、家々は凡五寸ばかり柱飛上り、一昼夜三十五度迄ゆりたる日も有て、終に垣壁等崩落、土蔵等も素行灯の如くなり果、家の内には害人も居る者無く、外庭に蚊帳を釣り、七月より八月中旬頃迄は中々恐ろしき事云ん方なし。老人や病人子供等は遠在に送り、財宝も大概送り片付たり。」(頭注) 尤倒レ家多、或ハ斜ニ成居モ有、耆軒トテ無恙ハナカリシ、高橋近傍ハ尚甚シカリト云」 余りの事に付東京より理学者天文者下向有て工夫有りしに噴火山の基ひ也とぞ。金峯山の裂破れに機械を入れなどと致し見られしに、急には吹破る模様なしと云はれしより、少しは人々落着たり。され共、市中彼此毎日土中裂故、人夫を以只々埋方致し、又盜賊徘徊甚しくて言語道断の次第也。然るに次第日を経るに随ひて弱く成りしか共、十月初方迄は毎日弱々とゆらざる隙はなかりけり。彼甚敷時分には宇土辺も日に兩三度宛はゆりたり。此近郷は官ノ原辺迄も時々ゆりたる事也。然るに此度の地震は平常のゆりかたとは違ひ、春撞く様堅様に動きし事にて壁などは尤崩れ落たり。実に希代の不思議と申あへり。其後は何事もなく平常の通と成し。」
1894	明治27	8月8日、阿蘇山西麓で大地震。 ※推定M6.3~6.8(推進本部HP)(災害履歴DB) 阿蘇郡内にて家屋土蔵破損22件、山崩れ18件、石垣崩壊など被害。11月30日に余震。
1895	明治28	8月27日、阿蘇山西麓で大地震。 ※推定M6.3~6.8(推進本部HP)(災害履歴DB) 阿蘇郡内にて土蔵破損400件、堤防亀裂8件、石垣倒壊22件など被害。10月4日に余震。
1898	明治31	12月4日、熊本県東部で大地震。 ※推定M6.7(推進本部HP)(災害履歴DB) 阿蘇山東麓が震源。家屋倒壊など被害多数。人吉、宮崎でも被害。
1900	明治33	7月27日、熊本県北西部で地震。震度3~4程度か。(災害履歴DB)
1906	明治39	3月17日、熊本付近で地震。震度4程度。陶器・ガラス店で被害。(災害履歴DB)
1907	明治40	3月10日、熊本付近で地震。推定M5.4。煉瓦煙突倒壊などの被害。(災害履歴DB)
1908	明治41	5月2日、阿蘇付近で地震。(災害履歴DB)
1911	明治44	8月22日、熊本県北東部で地震。推定M5.7。長陽村で山崩れ、石垣崩壊など。(災害履歴DB)
1916	大正5	3月5日、阿蘇山麓北部で地震。被害なし。(災害履歴DB) 12月29日、熊本県南部で大地震。推定M6.1。水俣・佐敷で石垣崩壊、田畑亀裂など被害。数日間に数十回の余震あり。(災害履歴DB)
1930	昭和5	7月18日、熊本県北部で地震。推定M4.3。(災害履歴DB)
1931	昭和6	12月21日~26日、八代海で群発地震。推定M5.6~5.9。八代町沿岸や田浦で被害。 21日、築島で岩石崩落。石灰石採掘中の作業員3名死亡、5名重軽傷。(『昭和史年表』)
1933	昭和8	2月8日、阿蘇で震度5。 3月25日、大津で震度4。 4月8日、御船で震度4。 4月13日、阿蘇で震度4。 5月5日、阿蘇で震度4。 8月16日、御船で震度5。 11月10日、御船で震度4。 11月20日、大津で震度5。(災害履歴DB)

1934	昭和9	1月23日、阿蘇で地震。 1月30日、阿蘇で地震。(災害履歴DB)
1937	昭和12	1月27日・28日、熊本中部で地震。震源は瀬田・大津。推定M5.1。 上益城郡秋津村で石橋崩壊などの被害。(災害履歴DB)
1941	昭和16	11月19日、日向灘地震。推定M7.2。(災害履歴DB) 人吉地方で死者2名、負傷者7名、家屋全壊19件の被害。(『昭和史年表』)
1946	昭和21	12月21日、南海大地震(震源は紀伊半島沖)。推定M7.2。(災害履歴DB) 熊本でも家屋倒壊により母子が死亡。負傷者1名。家屋倒壊6件。(『昭和史年表』)
1948	昭和23	5月9日、日向灘地震。推定M6.5~6.7。(災害履歴DB)
1966	昭和41	11月12日、有明海で地震。推定M5.5。熊本で瓦落下、壁崩落などの被害。(災害履歴DB)
1968	昭和43	3月25日、えびの地震。推定M6.1。(災害履歴DB) 人吉で有感16回。(『昭和史年表』)
1975	昭和50	1月23日、阿蘇で震度5。推定M6.1。一の宮町に被害集中。負傷者10名。(災害履歴DB)
1980	昭和55	12月12日、日向灘地震。推定M6.0。(災害履歴DB)
1981	昭和56	1月30日、天草沖で地震。牛深で震度4。(災害履歴DB)
1997	平成9	3月26日、鹿児島県北西部地震。M6.6。阿久根・川内で震度5強。八代は震度4。(推進本部HP) 5月13日、M6.4の余震発生。川内で震度6弱。八代は震度4。(推進本部HP)
1999	平成11	3月9日、旭志村で震度4。M4.8。塀の倒壊、瓦の落下、落石等の被害。(H27『熊本県防災計画』)
2000	平成12	6月8日、富合町・嘉島町で震度5弱。M5.0。八代は震度3。(H27『熊本県防災計画』) 負傷者1名。益城町、嘉島町、御船町で屋根瓦多数落下、砥用町で落石被害。
2001	平成13	1月10日、産山村などで震度3。M4.1。(H27『熊本県防災計画』) 高森町で落石、水道管破裂、屋根瓦の落下、窓ガラス破損等の被害。
2005	平成17	6月3日、大矢野で震度5弱。M4.8。負傷者2名。八代(千丁)で震度4。(H27『熊本県防災計画』)
2011	平成23	10月5日、菊池市で震度5強。M4.5。住宅一部損壊などの被害。(H27『熊本県防災計画』)
2016	平成28	4月14日、熊本大地震発生。益城町で震度7。M6.5。八代は震度5弱。(気象庁HP) 4月16日、益城町・西原村で震度7。M7.3。八代は震度6弱。(気象庁HP) 4月19日、八代市で震度5強。M5.5。(気象庁HP)

【主な参考資料】

『熊本県災異誌』(熊本親侯所、1952年)、『熊本藩年表稿』(熊本藩政史研究会、1974年)
『熊本昭和史年表』(熊本日日新聞社編集局、1976年)
【参考ホームページ・データベース】
政府地震調査研究推進本部 <http://www.jishin.go.jp/>
九州災害履歴情報データベース <http://saigairireki.qscpu2.com/>
気象庁 <http://www.jma.go.jp/jma/>